

## 平成 18 年度事業報告

(平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 31 日まで)

## <総務関係>

### 1. 任期満了による役員の変更

6月1日に開催した第32回定例評議員会並びに第76回定例理事会において、任期満了による役員の変更を行いました。

退任理事は、朝倉邦造副理事長（書協）、白石勝副理事長（雑協）、鶴田尚正副理事長（取協）、日下公人理事（東京財団）です。なお、小林辰三郎理事長は、取協会長として副理事長に就任いたしました。

一方、新任理事は、肥田美代子理事長（児童文学作家、前衆議院議員）、小峰紀雄副理事長（書協）、村松邦彦副理事長（雑協）でした。

退任理事の皆様には、任期中、財団運営に対し格別のご指導ご協力いただき、たいへんありがとうございました。心より御礼申し上げます。

### 2. 理事会・評議員会の開催

※議案説明は、総務事項に関し、登記事項や寄附行為にかかわる重大事項のみ明記

#### 第32回定例評議員会並びに第76回定例理事会

月日：6月1日

場所：日本出版クラブ会館「鳳凰の間」

議題：第1号議案 「平成17年度事業報告案並びに決算案、監査報告」について

第2号議案 「平成18年度事業の進捗状況」について

第3号議案 「任期満了に伴う役員の変更」について

◆ 前記のとおり

#### 第77回定例理事会

月日：7月27日

場所：日本出版クラブ会館

議題：第1号議案 「活字文化・読書活動推進機構（仮称）の設立」について

第2号議案 「10月27日 JPIC 読書推進キャンペーン案」について

第3号議案 「役員の一部改選」について

第4号議案 「役員報酬」について

◆ JPIC 寄附行為第21条に規定する「役員は、無報酬とする。ただし、常勤の役員については、理事会の同意を得て、報酬を支給することができる」の『常勤』定義を所管官庁に確認し、可能であれば、肥田理事長に報酬を支払う旨。

#### 第33回定例評議員会並びに第78回定例理事会

月日：9月27日

場所：日本出版クラブ会館「鳳凰の間」

議題：第1号議案 JPIC「文字・活字文化の日」関連活動について

第2号議案 「文字・活字文化推進機構」について

第3号議案 「理事・評議員の一部交代」について

◆ 小林辰三郎副理事長⇒山崎厚男副理事長（取協）

◆ 高野仁常務理事⇒風間賢一郎常務理事（トーハン）

◆ 黒井千次理事⇒坂上弘理事（日本文藝家協会）

#### 第34回定例評議員会並びに第79回定例理事会

月日：3月29日

場所：日本出版クラブ会館「きくの間」

議題：第1号議案 「平成19年度事業計画案骨子」について

第2号議案 「平成18年度決算見通しと平成19年度予算案」について

第3号議案 「文字・活字文化推進機構設立に向けて」について

第4号議案 「理事・評議員の一部交代」について

◆ 森内日出美理事⇒河野隆史理事（日教販）

## 事業報告

### 1. 生涯学習事業

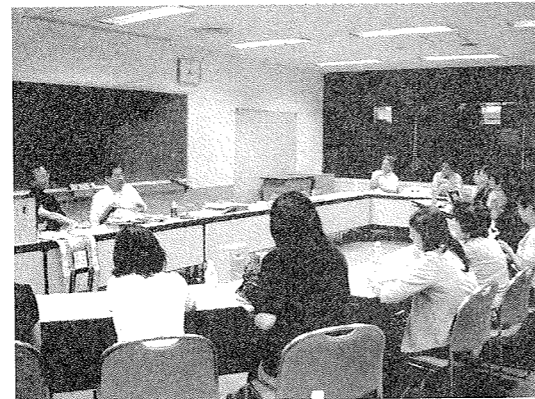
#### 「JPIC 読書アドバイザークラブ(JRAC)」への活動支援

平成5年より開講している「JPIC 読書アドバイザー養成講座」の修了生は、平成17年度末で約1,400名となりました。修了生は自主運営組織「JPIC 読書アドバイザークラブ (JRAC)」を組織して、活発に活動しています。

修了生の主な活動としては、自主グループでの「学習会の開催」、「JRAC 通信の発行」「会員用ホームページでの情報交換」、JPICによせられる「各種団体開催の読みかせ講習会の講師への対応」など、多岐にわたります。全国には地域支部が13支部あり、交流しています。

JPICとしてもさらにJRACの活動機会を広げるため、「JPIC 読みかせサポーター講習会」の読みかせ実践講師、講談社「全国訪問おはなし隊」や「スミセイおはなし広場」でのボランティア向け学習会での講師など、主催・協力事業での講師のほか、おはなし会の読み手を依頼しています。

また、『この本読んで!』では毎号、JRACメンバーが「おはなし会プログラム紹介」を執筆し、人気のコーナーとなっており、特集記事での「おはなし会をもっと楽しく!」にも登場、誌面でも活躍しています。(JRAC会員:約500名、18年度末現在)



#### JPIC 読みかせサポーター講習会

読みかせの輪を全国各地にもっともっと広げるため、「子どもへの読書推進運動」への理解促進と「読みかせ運動」協力者育成を目的として「JPIC 読みかせサポーター講習会」を開催いたしました。(実施:18ヶ所 参加者:1,532名)

プログラムAでは、絵本作家や研究者による特別講演、JPIC 読書アドバイザーによる「おはなし会」をするための実技やポイント、「おはなし会」実演などの講習を行いました。

プログラムBでは、おはなし会を充実させるための「パネルシアター」「ペープサート」「手ぶくろ人形」などの講習を行いました。

また、A・Bともに、全国各地の読みかせ活動の現状や子どもの読書活動推進法など、読書推進の現状について説明いたしました。(参加費:プログラムA・2,000円、プログラムB・2,500円)

本事業は平成11年の秋よりスタートして、延べ202回、20,172名の参加者を得ています。

#### ■子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成活動

	日程	開催地	プログラム	会場名	特別講師	申込者数	参加者数
1	7月1日	新宿区	A	新宿エステックビル	浜田桂子氏	182	141
2	7月15日	前橋市	A	煥乎堂ホール	宮西達也氏	60	50
3	7月23日	高松市	B	生涯学習センター	阿部恵氏	96	81
4	8月1日	大分市	A	大分県教育会館	あきやまただし氏	100	100
5	8月2日	大分市	A	大分県教育会館	あきやまただし氏	100	100
6	8月19日	盛岡市	A	アイーナ	宮西達也氏	85	67
7	8月26日	千代田区	A	御茶ノ水ビル	とよたかずひこ氏	100	90
8	8月26日	名古屋市	A	名古屋国際会議場	内田麟太郎氏	126	94
9	9月2日	富山市	A	富山国際会議場	浜田桂子氏	93	87
10	9月9日	神戸市	B	学校厚生会館	阿部恵氏	81	68
11	10月14日	広島市	B	アステールプラザ	阿部恵氏	75	67
12	10月29日	大阪市	A	OBP ツイン 21	長野ヒデ子氏	92	62
13	11月4日	山形市	A	遊学館	とよたかずひこ氏	47	25
14	11月25日	和歌山市	A	和歌山県経済センター	阿部恵氏	72	61
15	12月10日	静岡市	A	あざれあ	岩城敏之氏	101	81
16	1月20日	郡山市	B	郡山商工会議所	阿部恵氏	169	156
17	1月27日	福岡市	A	都久志会館	長野ヒデ子氏	105	79
18	2月10日	熊本市	B	レンガビル・熊本	阿部恵氏	140	123
合計						1,824	1,532

## ヤングアダルト(YA)文学講座

中高生に向けて読書推進を行っている方を対象に、児童文学者による基調講演、JPIC 読書アドバイザーによるブックトーク講習と実演を交えて、講習会を行いました。中高生の参加も呼びかけました。(実施：4会場、382名の参加、内学生17名)

平成17年度に「サポーター講習会 YA 編」として好評いただいた内容を継続したものです。(参加費1,000円、学生無料)

### ■ 子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)助成事業

	日程	開催地	会場名	特別講師	申込者数	参加者数
1	10月14日	松山市	愛媛県民文化会館	金原瑞人氏	84	72
2	10月21日	仙台市	ハーネル仙台	清水真砂子氏	127	100
3	12月2日	千代田区	全共連ビル	金原瑞人氏	224	95
4	12月9日	名古屋市	名古屋国際会議場	金原瑞人氏	147	116
			合計		582	383

## 2. 調査研究事業

### 「文字・活字文化振興法」対策研究委員会

#### ① 読ませ大賞

平成17年7月に制定・施行された「文字・活字文化振興法」を受け、「文字・活字文化の日」をPRするため、読者参加型のキャンペーン「第1回 読ませ大賞」を行いました。好きな人に読ませたい作品を選び、本を手渡す際に添えたいメッセージを合わせて、投票するものです。

キャンペーンキャラクターには人気モデルの押切もえさんを起用し、10月26日にはブロック・県紙50紙に1面全3段広告を、27日には全国紙・在京6紙に全15段広告を掲載いたしました。

また、右のポスターを日本出版取次協会協力のもと、全国の書店に配布し、掲示告知協力をいただきました。



あわせて、10月26日には活字議員連盟の協力により押切さんと首相官邸を訪問し、首相に絵本をプレゼントして「文字・活字文化の日」をPRいたしました。

「読ませ大賞」には、Web投票8,524件・郵便投票6,233件、計14,757件の投票がありました(投票期間：10月27日～12月31日、郵送は11月30日まで)。

第1回の大賞は文藝部門『東京タワー ～オカンとボクと、時々オトン～』、ノンフィクション部門『鏡の法則』の2作品となりました。

#### ② 文字・活字文化推進機構設立に向けた協力

平成19年10月の設立を目指して活動する文字・活字文化推進機構設立世話人会の事務局機能を担当しています。

18年11月25日(土)には日本プレスセンターにて第1回シンポジウム「言葉の力 日本未来」が開催されました。パネリストに北村正任氏(日本新聞協会会長、毎日新聞社長)、斎藤博明氏(経済同友会副代表幹事、TAC社長)、高木剛氏(日本労働組合総連合会会長)、林真理子氏(作家)、村山隆雄氏(国立国会図書館国際子ども図書館館長)の5名、コーディネーターに児玉清氏(俳優)を迎えました。参加者396名。

アピール

文字・活字文化は、心豊かな人間性の涵養と、健全な民主主義の発展に欠くことのできないものです。本日のシンポジウムでも、文字・活字文化の振興による言語力の向上が人づくりや地域づくり、国づくりにとって極めて重要であることが指摘されました。私たちは、このシンポジウムの成果を糧に、国民が等しく活字文化に親しむことのできる環境を整え、次世代へと継承してまいります。

国はすでに「子どもの読書活動推進法」と「文字・活字文化振興法」を制定・施行しています。私たちは、世界に類を見ない、この二つの法律理念の普及に努めるとともに、幅広い国民の協力を得て、以下の行動を起こし、言葉の輝く国・日本を実現します。

- 1、2007年10月を目途に「文字・活字文化推進機構」を創設し、家庭、学校、職場、地域における読書活動や新聞活用の教育など文字・活字文化の推進運動を展開します。
- 2、2010年を「国民読書年とする決議」の採択を国会に働きかけます。
- 3、子どもたちの言語力、読解力を育むため、「新学校図書館図書整備五ヵ年計画」を策定し、実施できるよう国と自治体に強く求めます。

2006年11月25日 文字・活字文化推進機構設立準備会

19年2月14日（水）には、憲政記念館にて第2回「言葉の力 図書館を考える集い」が開催されました。国立国会図書館国際子ども図書館の村山隆雄館長、滋賀県立図書館の梅沢幸平館長、全国学校図書館協議会の笠木幸彦理事長、さいたま市立春野中学校の小谷野弘子先生から、報告がありました。参加者526名。

アピール

「真理がわれらを自由にするという確信に立って、憲法の誓約する日本の民主化と世界平和とに寄与することを使命として、ここに設立される。」

これは、国立国会図書館の理念です。すべての図書館は人類の知識と知恵を蓄積し、未来を創造するうえで欠くことのできないものです。

私たちは、人生のすべてのステージで、自己研鑽と自己学習の場として、図書館を利用する権利があります。こうした認識に立って、「文字・活字文化振興法」を実効あるものにし、図書館行政に光を当てるため、「文字・活字文化振興法の施行に伴う施策の展開」で提示した諸政策の実現に向けて、私たちは、政官民の連携による活動に取り組みます。

今般、学校図書館の整備拡充を図る「新学校図書館図書整備五ヵ年計画」が策定されました。私たちは、この計画に基づく交付税措置が完全に実施されるよう、自治体に強く働きかけて参ります。また、調べ学習の一層の充実のために、新聞を使った教育（NIE）の推進に力を尽す決意です。

2007年2月14日 文字・活字文化推進機構設立世話会

3. 情報提供事業

「JPIC NEWS LETTER」の発行

賛助会員の皆様に毎月1回、財団事業の報告のため「JPIC NEWS LETTER」を発行しています。掲載内容についてのお問い合わせ、財団運営に対するアドバイスをいただくなど財団事業へ反映させています。併せて、経理・会計処理の透明性を維持するため「月次決算報告書」を同封するとともに、参考資料として『JPIC 読書推進スクラップ集』をお送りしています。

「JPIC 読書推進スクラップ集」の発行

毎日発行される新聞記事の中から、「読書推進」「読みきかせ」「出版」に関連するものを収集し提供する『JPIC 読書推進スクラップ集』を発行しています。一般紙とともに、一般の方にはあまり目に触れる機会のない出版業界専門紙に特別協力をいただき、全国各地の読書推進活動を紹介しています。（購読者：240名）

発行形態	発行：12回（2006年4月号～2007年3月号） 形態：A4・20ページ
協力新聞社	一般紙：朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、中日新聞、東京新聞、西日本新聞 専門紙：週刊読書人、新文化、新聞研究往来、新聞展望、新聞之新聞、全国書店新聞、文化通信、
購読料	通常・一般の方：3,600円（郵送料・税込） 『この本読んで！』併読：2,800円（郵送料・税込）

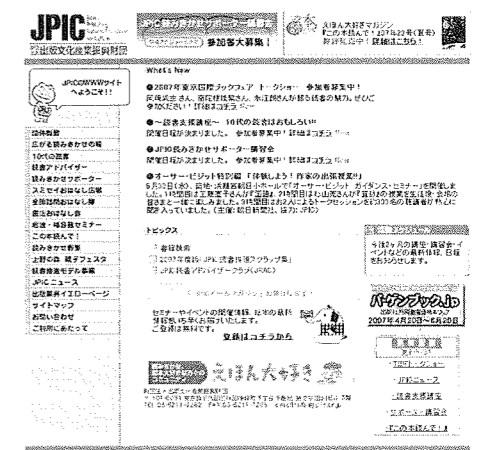
JPIC ホームページ

財団事業の活動を幅広く紹介し、活動スケジュールなどをいち早く提供するため平成10年2月よりホームページ (<http://www.jpic.or.jp/>) を公開しています。

平成14年8月に全面リニューアルして公開し、コンテンツの充実やオリジナルキャラクターの設置、全国のボランティアの方々との関係強化を図り情報の提供を行っています。

各地でのJPICが主催・協力する講習会・説明会などの案内も掲載しているため、ホームページ経由で各種取り組みに参加されるボランティアも増えています。

また、「JPIC 読書推進メールマガジン」を配信し、全国のボランティアに講習会やイベント情報を配信しています（登録無料、18年度末の登録者数：約5,000名）。メルマガ読者の優先申込枠を設けたり、講習会の申込を簡略化することで、これまでより一層手軽で迅速な告知集客が可能になりました。



## 機関誌『この本読んで!』の発行

30,000名を超えるJPICの読書推進運動への協力者との情報交換・情報提供のため、機関誌『この本読んで!』を平成13年11月に創刊(事業協力:博報堂)。平成18年2月号で通巻第22号となりました。

絵本や読みかせ活動の情報を中心に、「新刊絵本の紹介」や「絵本作家へのインタビュー」、「(JPIC 読書アドバイザー) おすすめ・おはなし会プログラム」など、多彩な内容を見やすいカラー誌面で構成しています。第20号(06年8月号)からデザインをリニューアルし、表紙も絵本作家のイラスト書き下ろしとなりました。あわせて公式ホームページも開設いたしました。(「えほん大好き」<http://www.ehondaisuki.jp>)

定期購読部数も10,000部を超えており、公共図書館・学校図書館からの購読が増えています。

発行形態	発行:年4回(5月、8月、11月、2月) 形態:A4変形・88ページ	
掲載記事	19号 06年夏号	特集1 だから大好き!ナンセンス絵本 特集2 L・M・モンゴメリ ゆかりの地を訪ねて あの作家に会いたい 浜田桂子さん、佐々木マキさん
	20号 06年秋号	特集1 おはなし会を盛り上げる7つのヒント 特集2 赤ちゃん絵本から始めよう あの作家に会いたい 宮西達也さん
	21号 06年冬号	特集1 ワクワク、ドキドキ大人もびっくり!仕掛け絵本 特集2 残したい、伝えたい日本語の美しさ・楽しさ・おもしろさ あの作家に会いたい 降矢ななさん
	22号 07年春号	特集1 子どもの文学への深い思い 石井桃子の100年 特集2 紙芝居、その奥深き世界 あの作家に会いたい いたうひろしさん
購読料	定期購読(4冊):4,200円(送料無料、税込) バックナンバー:1,200円(送料・税込)	



## 4. 交流協力事業

### 地域読書環境整備事業

JPICでは、書店も図書館もない地域に読書機会を提供する「地域読書環境整備事業」で、これまでに5地域で、自治体のモデル読書施設開設・運営を協力しています。

大分県耶馬溪町「わかば」(H.4.5 開設)、岩手県大船渡市「ブックワールド椿」(H.4.10 開設、開設時は三陸町)、北海道礼文町「Book 愛ランドれぶん」(H.5.10 開設)、福島県飯館村「「ほんの森 いいたて」(H.7.2 開設)、長野県東御市「ブック童夢みまき」(H.8.7 開設、開設時は北御牧村)。

開設した全施設が地元の読書推進運動の中核的な役割を担いながら運営を継続しています。一方で、本事業は平成4年度にスタートして以来、「読書」「メディア」を取り巻く環境が急変するとともに、市町村合併により、同一自治体内に書店が存在する状況が生まれたり、それぞれの運営に少なからず課題を抱えています。読書推進関連の催事開催支援や、各施設担当者の合同研修会の開催協力などで、その運営をバックアップしています。

18年度は「ブック童夢みまき」が開設10周年を迎え、記念事業として絵本作家のあきやまただし氏の記念講演会が行われました。

## 読書普及活動協力事業

読書普及活動の活性化に向けて業界各社が取り組む各事業（①全国訪問おはなし隊 ②おはなしマラソン ③取協読書推進事業「読みきかせ会」④トイザラス「たのしいおはなし会」⑤読みきかせ）に対し、「JPIC 読書アドバイザー」「JPIC 読みきかせサポーター」「地域の読書サークル」にボランティア参加の募集を呼びかけ、読みきかせ・ブックトークを開催する会場への読み手のコーディネートを行っています。

### ①全国訪問おはなし隊

講談社が創業 90 周年読書推進事業として平成 11 年 7 月よりスタートさせた「全国訪問おはなし隊」は、4 巡目を展開しています。全国の保育園、幼稚園、図書館、公民館、児童館、書店などをキャラバンカーで巡回し、地域の読書ボランティアの協力による絵本の読みきかせや紙芝居を通じて、子どもたちに本との出会いを提供しています。（18 年度：1,159 会場 累計実績：8,664 会場）

### ②おはなしマラソン

日本出版販売は、子どもたちに物語の楽しさを伝え未来の読者を育てていこうという試みから、書店読みきかせ会「おはなしマラソン」を平成 11 年 10 月より、全国で開催しています。（累計実績：573 書店）

### ③取協読書推進事業「読みきかせ会」

日本出版取次協会は、平成 12 年秋に創立 50 周年記念行事として「読みきかせ会の開催」を実施しました。平成 12 年度からの成果を踏まえて本年度も「読書推進」「書店店頭活性化・増売」「第 4 土曜日は、こどもの本の日」の拡充のため、書店における読みきかせ会を開催しました。（期間：平成 18 年 12 月 2 日～平成 19 年 2 月 3 日の毎週土曜日、実施書店：169 書店）

### ④トイザラス「たのしいおはなし会」

日本トイザラスは、知育玩具専門コーナー「イマジナリウム」導入店舗にて就学前の幼児を対象に絵本の読みきかせを行うイベント「たのしいおはなし会」を開催しました。（期間：平成 18 年 10 月 7 日～10 月 29 日の毎週土・日曜日、祝日 参加店舗：146 店）

■協賛出版社：岩崎書店、偕成社、学習研究社、学研トイズ、金の星社、くもん出版、講談社、主婦の友社、小学館キャラクター事業センター、大日本絵画、テンヨー、戸田デザイン研究室、童心社、永岡書店、PHP 研究所、ひかりのくに、ひさかたチャイルド、フレーベル館、文化学園、文化出版局、ポプラ社 [50 音]

## 第 7 回「上野の森 親子フェスタ」の開催

「2000 年子ども読書年」を記念して開催した「上野の森 子どもフェスタ」、翌年から「上野の森 親子フェスタ」として拡充開催しています。平成 18 年は第 7 回の開催を迎え、ゴールデンウィークの上野公園の恒例行事として定着してきた本事業には、今年も多くの人が詰め掛けました。（開催：平成 18 年 5 月 3 日～5 日、子どもの読書推進会議と共催）

- 協賛：日本公文教育研究会
- 後援：経済産業省、文部科学省、厚生労働省、国立国会図書館国際子ども図書館、東京都教育委員会、台東区、読売新聞東京本社
- 協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会、日本児童図書出版協会、日本出版取次協会、東京都書店商業組合、日本国際児童図書評議会



会期中（5 月 3 日～5 日）は天候に恵まれ、上野恩賜公園中央噴水池周辺では、52 社の協力による「子どものためのチャリティ・ブック・フェスティバル」が開催され、概ね 20%割引きの読者謝恩価格で過去最高の 3,053 万円強を売り上げました。

今年度より、日本書籍協会の協力で 40%の割引販売「出版社共同企画謝恩価格本フェア」を実施し、児童書から一般書まで揃う会場は、本を手にする多くの親子で賑わいました。

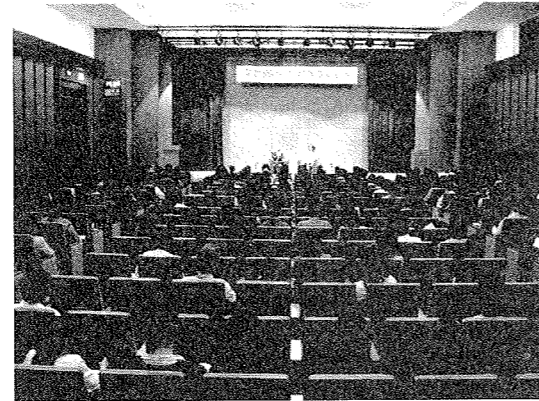


### ■ 出展社一覧 52 版元（50 音順）

アートン	アールアイシー出版	あかね書房	あすなる書房
アスラン書房	いかだ社	一声社	いのちのことば社
絵本館	絵本の家	大月書店	偕成社
KIBABOOK	金の星社	くもん出版	佼成出版社
講談社	小峰書店	朔北社	集英社
主婦の友社	小学館	鈴木出版	誠文堂新光社
世界文化社	全国農村教育協会	大日本絵画	大日本図書
童心社	西村書店	農山漁村文化協会	ハート出版
BL 出版	ひさかたチャイルド	評論社	福音館書店
富山房	ポプラ社	ほるぷ出版	理論社
YA 出版会			
おはなしサポートの会(アリス館、岩崎書店、学習研究社、フレーベル館、文研出版)			
森の会(クレヨンハウス、さ・え・ら書房、のら書店、文溪堂、星の環会、リブリオ出版)			

また、同会場では常時、「全国訪問おはなし隊」(協力：講談社) キャラバンカー前特設会場やイベントテントにて出展各社協力によるおはなし会や紙芝居、日本公文教育研究会による「KUMON 幼児フェスタ」、出展社ブースでは絵本作家のサイン会が行われました。

講演会も、東京国立博物館平成館と東京都美術館講堂を会場に、6 講演・2 ワークショップが行われ、約 2,300 名の親子・読者に読書の魅力やおはなしの楽しさを伝えました。



#### ■ 講演会一覧

日程	タイトル	出演者	参加人数
3日 (水・祝)	恐竜はかせになろう！ (協賛：小峰書店)	黒川みつひろさん (絵本作家)	325名
3日 (水・祝)	いのちを考える絵本 (協賛：くもん出版)	入江杏さん (絵本作家)	306名
4日 (木・休)	JPIC 読みきかせサポーター講習会 特別篇 心をつなぐ読みきかせ絵本 100	越高一夫さん他 5名 (JPIC 読書アドバイザー)	311名
4日 (木・休)	読んで・うたって・遊ぼう (協賛：小学館)	工藤直子さん(詩人、童話作家)、 新沢としひこさん (シンガーソングライター)	337名
5日 (金・祝)	みんなで歌おう！童謡コンサート (協賛：講談社)	渡辺かおりさん(歌のお姉さん) タンポポ児童合唱団	342名
5日 (金・祝)	読むこと、書くこと	角田光代さん(作家)、 永江朗さん(出版ジャーナリスト)	318名
3日 ・5日	わらべうた&おはなしの時間 (協賛：日本公文教育研究会)	武藤希代子さん (小澤昔ばなし研究所再話研究部員)	約 200名
4日	ワークショップ しかけ絵本教室 (協力：大日本絵画)	嵐田康平さん(大日本絵画)	40名

#### 「21 世紀活字文化プロジェクト」への協力

読売新聞社は、思考力や想像力を育む本や新聞などの活字文化の振興を図り、活力ある社会の再構築をめざすため、出版関係業界と協力して「活字文化推進会議」を発足させ、「21 世紀活字文化プロジェクト」に取り組んでいます。



同プロジェクトの一環として、家庭での読みきかせを普及させるため、「お父さんとお母さんの読みきかせ教室」に協力しました。

(実施：9ヶ所 参加者：456 家族)

絵本作家や保育専門家の講演とともに、JPIC 読書アドバイザーによるおすすめ絵本紹介や手遊びなどを行い、家庭で読みきかせをすることの大切さを伝えました。

	日程	開催地	会場	講師	参加家族数
1	4月15日(土)	甲府市	甲府市北部幼児教育センター	岩城敏之氏	53 家族
2	5月20日(土)	津市	三重県総合文化センター	とよたかずひこ氏	65 家族
3	5月27日(土)	函館市	函館市亀田福祉センター	阿部恵氏	27 家族
4	8月5日(土)	宇都宮市	宇都宮市中央生涯学習センター	とよたかずひこ氏	45 家族
5	9月23日(土)	大津市	明日都浜大津・ふれあいプラザ	宮西達也氏	70 家族
6	10月28日(土)	大阪市	大阪ビジネスパークツイン 21	あきやまただし氏	38 家族
7	12月16日(土)	大分市	大分文化会館	岩城敏之氏	44 家族
8	2月10日(土)	川崎市	サンピアンかわさき	とよたかずひこ氏	73 家族
9	3月17日(土)	鳥取市	鳥取県立県民文化会館	岩城敏之氏	41 家族
合 計					456 家族

また、第 4 回「子どもの本フェスティバル in おおさか」では、約 10,000 冊の絵本・児童書の展示即売や、中川ひろたか氏(絵本作家)、ケロポンズ(スーパーデュオグループ)らのコンサートに加え、あきやまただし氏(絵本作家)出演の「お父さんとお母さんの読みきかせ教室」、猪熊葉子氏(翻訳家)基調講演によるセミナー「子どもの本の可能性を探る」



(主催：岩波書店・福音館書店) や長野ヒデ子氏(絵本作家)が講演を行った「JPIC 読みきかせサポーター講習会」など、読書に親んでもらうための様々なイベントを開催しました。(共催：活字文化推進会議、日本児童図書出版協会、JPIC 開催：10月28日～29日 会場：大阪ビジネスパーク TWIN21)



### 「スミセイおはなし広場」への協力

財団法人住友生命健康財団は、読書をととした子どもの健全育成を目的として、子どもたちが「おはなしや本の楽しさ」に出会う機会を創造する「スミセイおはなし広場」を実施しています。

その一環である「おはなし広場キャラバン」は、希望する保育園・幼稚園に、オリジナル絵本や大型絵本、紙芝居を交えたおはなし会を届けるものです。読み手に地域の読書サークルをコーディネートして開催するおはなし会は、地域交流のきっかけという役割も担っています。

18年度は、4地域（6月鳥取県鳥取市・米子市周辺、9月徳島県徳島市周辺、10月沖縄県那覇市周辺、11月茨城県水戸市周辺）で開催し、9,444名の園児が参加しました。（実施：115施設）

### 赤ちゃん本舗「赤ちゃん和妈妈のおはなし会」への協力

育児用品などの販売を手がける「赤ちゃん本舗」は、家庭でのコミュニケーションの発展と読書推進を目的として、店舗内のスペースを利用し、乳児・幼児・保護者を対象とした「赤ちゃん和妈妈のおはなし会」を実施しています。おはなし会を開催する店舗に、JPIC読書アドバイザーやJPIC読みきかせサポーターをコーディネートしています。（開催：毎月約40店舗）

### 第4回「子どもの本まつり in とうきょう」開催

秋の上野公園読書推進事業として、第4回「子どもの本まつり in とうきょう」を子どもの読書推進会議との共催で9月16～18日、台東区・上野恩賜公園にて開催しました。

- 後援：経済産業省、文部科学省、  
国立国会図書館国際子ども図書館、東京都教育委員会、台東区、朝日新聞社
- 協力：上野の山文化ゾーン連絡協議会、  
日本児童図書出版協会、日本出版取次協会  
ヤングアダルト出版会



上野恩賜公園中央噴水池広場では、48社の出展による「チャリティブックフェスティバル」が開催され、概ね20%割引きの読者謝恩価格で同催事最高の約1,610万円を売上げました。この収益の一部は読書推進運動に関する団体・取り組みに寄付しました。また、出展社ブースやイベントテントでは、作家のサイン会やおはなし会が開催されました。

#### ■出展社一覧 48社・者（50音順）

あかね書房	あすなる書房	アスラン書房	アートン
アールアイシー出版	一声社	いのちのことば社	絵本の家
KIBABOOK	金の星社	くもん出版	佼成出版社
講談社	国土社	ゴマブックス	小峰書店
集英社	主婦の友社	小学館	鈴木出版
誠文堂新光社	世界文化社	全国農村教育協会	大日本絵画
大日本図書	童心社	徳間書店	農山漁村文化協会
ひさかたチャイルド	評論社	福音館書店	富山房
ポプラ社	ほるぷ出版	理論社	YA出版会
JPIC			
おはなしサポートの会（アリス館、岩崎書店、学習研究社、フレーベル館、文研出版）			
森の会（クレヨンハウス、さ・え・ら書房、のら書店、文溪堂、星の環会、リブリオ出版）			

東京国立博物館平成館での講演会は下記の通り開催され、いずれも盛況でした。

日程	講演/協力	出演	参加者数
17日 午前	「ティラノサウルスのきみは ほんとうにステキだね」 (ポプラ社 協賛)	宮西達也氏（絵本作家）	322名
17日 午後	「少女たちの目に映った＜戦争＞の時代」 (くもん出版 協賛)	岩崎京子氏（児童文学作家）	109名
18日 午後	「子どもの本の可能性を探る」 (岩波書店・福音館書店 主催)	清水真砂子氏（翻訳家） 越高一夫氏 (JPIC読書アドバイザー)	285名

## 岩波書店・福音館書店セミナー「子どもの本の可能性を探る」への協力

岩波書店・福音館書店は合同学校巡回 30周年を記念して、全国 8 会場にて展示会・セミナーを開催いたしました。JPIC はその内、セミナーのみ東京・大阪・旭川の 3 会場の開催に協力し、458 名の参加（内、学生 30 名）がありました。プログラムは児童文学者・翻訳家による講演と JPIC 読書アドバイザーによるブックトーク講座の 2 部構成で、児童文学の名作や手法を紹介しました。

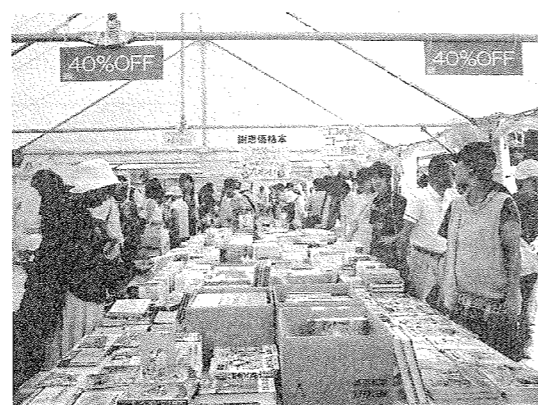


（参加費 1,000 円、学生無料）

	開催日程	地域	基調講演 (児童文学者)	申込者数	参加者数 (内、学生)
1	9月18日(土)	台東区	清水真砂子氏	402名	285名(20名)
2	9月30日(土)	旭川市	斎藤惇夫氏	76名	68名(0名)
3	10月28日(土)	大阪市	猪熊葉子氏	143名	105名(10名)
計		3会場		621名	458名(30名)

## 第 2 回「大阪城ブックフェスティバル」開催

7月29日～8月6日までの9日間、大阪市・大阪城公園で開催された「オーサカキング2007」（主催：毎日放送＜MBS＞、共催：大阪市、大阪観光コンベンション協会）の一環として、「大阪城ブックフェスティバル」を展開いたしました。

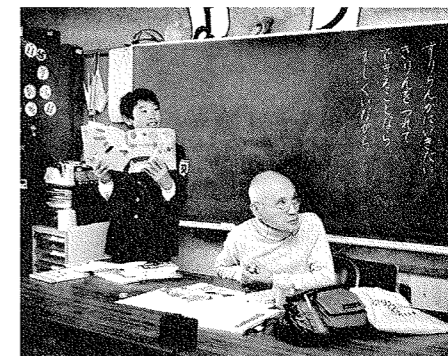


日本児童図書出版協会の協力による絵本・児童書・ヤングアダルトなど、約 1,500 点の定価販売に加え、日本書籍出版協会流通委員会の協力による「読者謝恩価格本」コーナーでの 40% 引き販売（再販弾力運用への取り組み）を行い、約 175 万円を売り上げました。会場では連日 JPIC 読書アドバイザー関西支部によるおはなし会が行われ、家族連れで賑わいました。

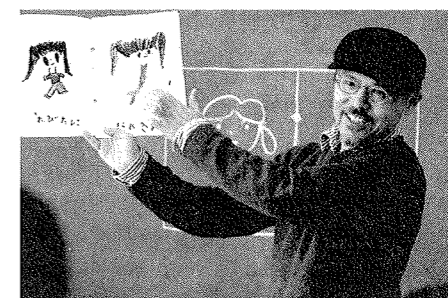
## 朝日新聞社「オーサー・ビジット・プロジェクト」への協力

「オーサー・ビジット・プロジェクト」は、朝日新聞社の読書推進運動として、15 年度よりスタートいたしました。

作者（オーサー）が小・中・高校の教室を訪問し（ビジット）、作者自身の言葉による授業や対話により、子どもたちの読書意欲を喚起することを目的としています。



初年度は、全国の学校から予想を上回る応募があったため、9 名であった作家を翌年より倍以上の規模に拡充して開催しています。4 年目の平成 18 年度は、約 1,500 件を超える応募があり、25 名の作家が 46 校を訪問して、おもしろ授業をクラスで展開しました。この訪問の様子は朝日新聞 be junior「オーサー・ビジット総集編」としてタブロイド版にまとめられ、応募いただいた学校やご希望いただいた読者へ届けられました。



JPIC は事務局として協力し、応募校の受付・登録や作家と学校の訪問スケジュール調整などの役割を担っています。

	訪問日	訪問地	学校名	作家名
1	9月13日(水)	神奈川県	横浜国大附属鎌倉小学校	俵万智 (歌人)
2	9月27日(水)	新潟県	五泉市立五泉南小学校	松岡達英 (自然絵本作家)
3	9月28日(木)	東京都	練馬区立上石神井小学校	はやみねかおる (児童文学作家)
4	10月3日(火)	宮崎県	宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校	桂文我 (落語家)
5	10月5日(木)	京都府	京都市立錦林小学校	イッセー尾形 (俳優)
6	10月6日(金)	福岡県	宇美町立井野小学校	今森光彦 (写真家)
7	10月6日(金)	広島県	江田島市立柿浦小学校	松岡達英 (自然絵本作家)
8	10月12日(木)	高知県	高知市立横内小学校	今森光彦 (写真家)
9	10月13日(金)	山口県	周防大島町立沖浦中学校・小学校	工藤直子 (詩人・童話作家)
10	10月18日(水)	熊本県	熊本県立人吉高等学校	山田ズーニー (文章表現・コミュニケーションインストラクター)
11	10月18日(水)	埼玉県	入間市立野田中学校	イッセー尾形 (俳優)
12	10月19日(木)	鳥取県	鳥取市立若葉台小学校	はやみねかおる (児童文学作家)
13	10月20日(金)	大阪府	大阪府立清水谷高等学校	佐渡裕 (指揮者)
14	10月24日(火)	静岡県	湖西市立鷺津小学校	さとうまきこ (児童文学作家)

15	10月27日(金)	山梨県	中央市立田富南小学校	長谷川義史 (絵本作家)
16	10月27日(金)	大阪府	大阪府立春日丘高等学校	甲野善紀 (古武術研究者)
17	10月31日(火)	山形県	山形県立霞城学園高等学校	上橋菜穂子 (作家)
18	11月1日(水)	青森県	五所川原市立中央小学校	杉山亮 (児童文学作家)
19	11月6日(月)	北海道	北海道富良野高等学校	清宮克幸 (サントリー・ラグビー部監督)
20	11月6日(月)	岩手県	奥州市立南都田中学校	甲野善紀 (古武術研究者)
21	11月15日(水)	福井県	福井県立武生東高等学校	金原瑞人 (翻訳家)
22	11月15日(水)	福島県	福島県立安積黎明高等学校	俵万智 (歌人)
23	11月20日(月)	兵庫県	兵庫県伊丹高等学校	清宮克幸 (サントリー・ラグビー部監督)
24	11月21日(火)	神奈川県	横浜雙葉高等学校	五味太郎 (絵本作家)
25	11月22日(水)	富山県	高岡市立高岡西部中学校	後藤道夫 (科学ジャーナリスト)
26	11月29日(火)	和歌山県	和歌山県立和歌山北高等学校	野口健 (アルピニスト)
27	12月1日(金)	京都府	精華町立精華西中学校	さとうまきこ (児童文学作家)
28	12月4日(月)	京都府	京都聖カタリナ高等学校	養老孟司 (解剖学者)
29	12月5日(火)	兵庫県	神戸市立住吉小学校	佐渡裕 (指揮者)
30	12月6日(水)	静岡県	掛川市立西郷小学校	桂文我 (落語家)
31	12月8日(金)	山梨県	山梨県立韮崎高等学校	養老孟司 (解剖学者)
32	12月8日(金)	大分県	大分県立中津南高等学校	アーサー・ビナード (詩人)
33	12月12日(火)	広島県	広島県立広島井口高等学校	金原瑞人 (翻訳家)
34	12月15日(金)	徳島県	小松島市立小松島小学校	野口健 (アルピニスト)
35	12月15日(金)	茨城県	潮来市立潮来小学校	山田ズーニー (文章表現・コミュニケーションインストラクター)
36	12月21日(木)	北海道	札幌市立篠路西小学校	長谷川義史 (絵本作家)
37	1月18日(木)	岡山県	岡山市立伊島小学校	後藤道夫 (科学ジャーナリスト)
38	1月18日(木)	京都府	立命館小学校	工藤直子 (詩人・童話作家)
39	1月19日(金)	愛知県	一宮市立瀬部小学校	アーサー・ビナード (詩人)
40	1月22日(月)	東京都	世田谷区立東深沢小学校	五味太郎 (絵本作家)
41	1月23日(火)	滋賀県	比叡山高等学校	上橋菜穂子 (作家)
42	1月24日(水)	福岡県	福岡県立太宰府高等学校	谷川俊太郎 (詩人)
43	1月24日(水)	千葉県	千葉県立東葛飾高等学校	筑紫哲也 (ジャーナリスト)
44	1月25日(木)	大阪府	阪南市立福島小学校	杉山亮 (児童文学作家)
45	1月30日(火)	香川県	多度津町立豊原小学校	谷川俊太郎 (詩人)
46	2月20日(火)	東京都	文京区立第三中学校	井上ひさし (作家・劇作家)